

記入例
※単年度用

様式第1号（第7条関係）

令和〇〇年度 新産業創出支援事業補助金交付申請書

令和〇〇年 ●月 ●日

(宛先)

伊勢市長

社印・代表者印
を押印のこと。

申請者 名称 (株)〇〇機工
所在地 伊勢市朝熊町 4383-469
代表者氏名 伊勢 太郎 印
担当者 二見 次郎
電話 0596-63-5677

令和〇〇年度において、〇〇〇〇加工機械 研究開発事業を実施したいので新産業創出支援事業補助金を交付されたく、次のとおり関係書類を添えて申請します。

記

研究開発に要する経費の1/2
以内で、100万円以上 200
万円以下で記入

1 交付申請額 2,000,000円

研究開発は何のために行うのか、それ
によってどのような効果が見込まれる
のか簡潔に記入！

2 補助事業の目的及び効果

景気低迷により従来事業である金属加工・電子基盤などの工作機械の受注が大きく低迷している。そこで、設備に余力のある今、今後の大きな成長が見込まれる環境関連の製品開発をして、売り上げの向上を図り、雇用の確保につなげたい。

3 関係書類

添付する書類の見出しを記入。

法人登記簿謄本／定款／会社パンフレット
財務諸表および業務報告書／位置図／市民税納税証明書（完納証明）
同意書

1 申請者の概要

項 目	内 容		
名称	(株)〇〇機工		
代 表 者 氏 名	代表取締役社長 伊勢 太郎		
所在地	〒516-0021 伊勢市朝熊町 4383-469 電話 0596-63-5677 ファックス 0596-22-8851		
市内の主たる事業所	同 上		
業 種	一般機械器具製造業 (金属加工機械)	創業年月	昭和46年
資本金	1,000 万円	従業員	21人
主な生産（作業）の内容、機械・設備等	金属加工・電子基盤などの工作機械を製造・販売 主要事業所 ・工場 伊勢（本社）・・・金属加工の工作機械など 志摩・・・電子基盤の工作機械など ・営業所 東京、大阪、名古屋、仙台、九州		
主要製品	プリント配線盤加工機械（〇〇電子(株)グループ等へ納品） 金属・非鉄金属用加工機械 自動車関連加工機械（〇〇自動車の協力工場へ納品） 鉄道車両関連加工機械（〇〇車輛の協力工場へ納品） 航空機関連加工機械（〇〇重工の協力工場へ納品）		
年間売上高	2億1千万円		

ここでの内容①～⑤が、審査委員会での審査の重要事項となる。

2 研究開発事業の概要

研究テーマ	〇〇〇〇加工機械 研究開発
<p>①当該技術の現状</p> <p>次世代エネルギーとして注目を集めている太陽光発電は、 、エネルギー変換効率は、現在発売されているもののうち最も高いもので〇%となっており、 という状況である。 太陽光発電設備の中の「〇〇〇〇」という部品は、そのエネルギー変換効率に大きな影響を与えるもので、 現在は、「△△△△」という方式が主流となっているが、〇〇大学の研究によって、「□□□□」という方式を用いれば、大きな効率向上が見込まれている。 現在、当社ではその「□□□□」方式の加工機械を試作し、その試作品を用いて、実験を行ったところ、効率が2.3ポイント向上する結果が得られた。 。しかし、 という課題があり、これを解決しないと、実用レベルに達しない。</p> <p>②研究の必要な理由、目的</p> <p>「□□□□」方式の加工機械は、現在、どのメーカーも製品化に至っておらず、日常の営業活動のなかで、要望がある。今後、太陽光発電の市場が拡大するにつれて、「□□□□」方式の加工機械に対するニーズは急速に高まると考えられる。 。 今後、実用化のためには、 の精度を向上させて、更なる効率の向上に取り組まなければならない。 。</p>	

研究開発スタート時点での現状・課題を、他社製品の状況なども含めて記入。

「①現状」を踏まえて、なぜ研究に取り組むのか、何のためかを記入。

研究開発が完了すると、どのような物ができて（到達目標）、それによって得られる効果はどのようなものかを記入。

③研究の効果

実用化できる製品を開発するため、下記のことを目標に研究開発に取り組む。

- ・現在の効率 10.5%を、18%へ7.5ポイントの向上を図る。
- ・現在の加工速度 1個/分を、2個/分へ向上させる。
- ・現在の不良率 1.2%を、0.1%まで低減させる。
- ・.....

「①現状」から「③目標」へ向けて、“何を、どのように、どの程度まで行うのか”を記入。
(審査の最重要項目なので、少なくとも用紙3枚以上)

④内容

既に試作を行った「□□□□」方式の加工機械について、精度を向上させて、更なる効率の向上に取り組む。.....

〇〇大学と共同研究することによって、「□□□□」方式を.....

部品Aについては、〇〇特殊加工という手法を用いて、.....

また、部品Bについては、その材料および傾斜角度に分けて、いくつモノパターンを試作し、.....

完成した物が、申請者自身や、社会的に
与えると期待している効果

⑤期待する効果

当社は、「△△△△」方式の加工機械で、〇〇電器(株)の協力工場などの納品している。・・・・・・。この製品は販売すると、年間売上高2億円(5,000万円×4台)が見込まれ、当社設備・人員はフル生産または不足気味となり、新たな設備投資や人の雇用につながる。

研究場所	(施設名) 二見工場 (所在地) 伊勢市二見町茶屋 420-1			
研究開発体制	研究従事者 3人			
区分	所属名	役職名	氏名	専攻分野、指導事項等
研究代表者	二見工場	工場長	二見 次郎	設計
研究開発者 (共同研究者 及び指導者 等)	二見工場	製造課長	小俣 三郎	プログラム作成
	二見工場	製造課	御菌 五郎	試作・組み立て・検査
研究期間及び年度計画	申請年度の4月1日以降 ～ 翌年1月31日まで(単年度) 翌々年1月31日まで(複数年度)			
研究期間	令和〇〇年 4月 1日 ～ 令和〇〇年 1月 31日			
年度計画	<p>4月</p> <p>5月</p> <p>6月</p> <p>7月</p> <p>8月</p> <p>9月</p> <p>10月</p> <p>11月</p> <p>12月</p> <p>1月</p>			

この欄に氏名を記載されている人しか、人件費の補助対象とならないので注意!

申請年度の4月1日以降
～ 翌年1月31日まで(単年度)
翌々年1月31日まで(複数年度)

上記の研究開発事業の概要について、スケジュール計画を記入。(複数年度事業の場合は、2年間分を記入。)

3 研究開発収支予算書
収入

収入と支出の合計金額が合致していること。
(複数年度事業の場合は、年度に分けて2年分を記入。)

(単位 円)

項目	金額	説明
自己資金	2,400,000	
借入金		
国補助金		
県補助金		
市補助金	2,000,000	
その他補助金		
その他収入金		
合計	4,400,000	

支出

項目は、「経費区分」を記入。

別紙で、詳細内訳を説明すること。

(単位 円)

項目	金額	説明
機械装置・ 工具器具費	500,000
原材料費	500,000
外注加工費	500,000
委託費	500,000
技術指導費	100,000
調査研究費	500,000
直接人件費	1,500,000
特許の取得に要する経費	300,000
合計	4,400,000	

※ 詳細は別紙

(別紙) 研究開発収支予算書の詳細

「何をするために、何に、いくら」必要なかを、具体的に明記すること。

○機械装置・工具器具費

□□切削工具・・・・・・・・・・・・・・ 50,000円

試作品△△△の外枠の表面仕上げ加工に使用工具を購入

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30,000円

試作品○○○○の樹脂硬化の高温槽改良のための修繕料

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 80,000円

試作品◇◇◇支柱の曲げ加工のための折り曲げ治具を購入

○原材料費

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50,000円

試作品△△△の外枠の樹脂材料

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30,000円

試作品○○○○の外装仕上げの耐光塗料

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 100,000円

試作品◇◇◇の塗料

○外注加工費

□□表面加工(3ロット) 200,000円

試作品○○○○金型の放電加工

○委託費

◇◇◇プログラム作成委託・・・ 300,000円

試作品○○○○の回路プログラムの製造委託料

□□・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 150,000円

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

○技術指導費

専門家派遣事業（溶接技術） 2回 50,000円
試作品◇◇◇の支柱のレーザー溶接による溶接欠陥の低減に関する指導

専門家派遣事業（〇〇技術） 2回 50,000円
試作品〇〇〇〇の回路プログラムの設計・改良の指導

○調査研究費

△△大学打合せ（東京）・・・
(50,000円×2人×5回) 500,000円
〇〇加工精度の向上のために委託研究している△△大学との打合せ

○直接人件費

二見 次郎（4,000円×200時間） 800,000円
〇〇加工精度の向上のための技術改良、△△大学との委託研究

小俣 三郎（2,500円×160時間） 400,000円
試作品〇〇〇〇の回路プログラムの検証・改良

御菌 五郎（2,000円×150時間） 300,000円
試作品◇◇◇の設計・製造（特に溶接）

○特許の取得に要する経費

△△△特許出願（特許事務所） 300,000円
〇〇加工精度の向上方法について研究成果を特許出願（△△大学と共同）